

## 原山台 市長と地域との懇談会

日 時：令和6年7月19日（金）

午後7時から午後9時まで

場 所：原山台集会所

参加者：19名

### 【内 容】

#### 市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- ・プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進んでいる。
- ・分別が進んだので、燃えるごみの量が減ったが、ごみ全体の総量では前年から3%程の減少と大きく減っていないため、総量の削減に市民の皆さまと一丸となって取り組んでいきたい。
- ・分別を徹底するとともに、燃えるごみの中で一番多い調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に取り組みたい。

#### 市からの報告 テーマ：下水道料金の値上げについて

- ・6月市議会にて、下水道料金の改定が議決された。
- ・下水道料金の料金改定は24年ぶりとなる。
- ・下水道事業は公営企業であり、本来は受益者負担で経営が求められるところ、汚水処理する費用の約65%しか使用料で賄っていない。
- ・残りの35%は税金で補填している現状であり、下水道を利用していない方の税も含まれている。
- ・経費回収率は本来100%が求められるもの。今回の改定によって、尾張旭市、長久手市と同水準の経費回収率80%となる予定である。

#### 地域の課題：ごみの減量について

- ・ミックスペーパーの分別や剪定枝が資源になることがまだあまり浸透していないので、より周知してほしい。
- ・菱野団地の集積所で不法投棄が多発しており、鍵をかけて対応している。豊田市や尾張旭市のごみ袋で廃棄しているケースもある。
- ・上記施錠の時間について環境課に相談した際、日中の不法投棄はないとの回答であったが、実際は日中の現場を押さえているので認識を改めてほしい。
- ・不法投棄による粗大ごみの処理に自治会費を使っているが、行政としても何らかの対策をしてもらいたい。

- ごみ分別などの問い合わせに答えられる人材を地域で育てられるとよい。環境課の負担も減るのではないか。

#### 地域の課題：防災について

- 民生委員が取りまとめている「災害時支援者台帳」の情報を自治会と共有したい。災害対策本部が設置されてから情報提供の指示が出されるとのことであるが、事前に予測される風水害と違い、大規模な地震があったときに、それでは対応が間に合わない。人命に関わる問題であるので、一宮市の事例なども参考に検討いただきたい。
- 菱野団地外周等に一時避難所が指定されているが、スペースが足りない。真貴幼稚園や集会所を地域独自の一時避難所にしてはどうか。
- 避難所開設の責任を自主防災リーダーに任せてはどうか。
- 地震が起こり水道が止まった場合、下水道も止まるのか。その場合、風呂場の水やトイレの水も流さないように周知徹底するのがよいと思う。

#### 地域の課題：その他

- 商店街に店舗を構えているが、住居は別の方が自治会に加入しない。
- 商店街に公衆トイレを設置してほしい。
- 愛知県、瀬戸市、公社の関係が希薄になっている。
- 他の連区の活動状況が入ってこない。
- 原山公民館が老朽化しており、立地的にも不便であるので新しい公民館の建設を検討してほしい。
- 道路が荒れている（でこぼこ）、歩くと怖い。歩道を整備してほしい。
- 菱野団地再生計画にしっかり取り組んでもらいたい。
- 住民バスの買換え、ボランティアのドライバー不足が課題。市からの補助を検討してほしい。